

令和6年度 第1回豊明市児童館指定管理者審査委員会 議事要旨

日 時：令和6年6月11日（火）

午後1時30分～4時30分

場 所：豊明市役所 新館1階 会議室6

※敬称略

出席委員： 南 寿樹、加藤 雪絵、野村 治子、藤井 謙一、時高 厚子、
田中 君枝、岡 裕香、萩原 啓一、小串 真美、中村 泰正、
浅井 俊一

事 務 局： 松村 清子（子育て支援課長）、若井 雅宏（課長補佐兼児童
担当係長）、柴田 英治（子育て支援課児童係主事）、
秋永 亘正（学校教育課長）、森田 愛（放課後育成担当係長）

指定管理者： 株式会社日本保育サービス、株式会社ポピンズエデュケア、
セリオ・ALSOK ビルサービス共同事業体

議題

1. 令和5年度モニタリングレポート（年次評価）について

【日本保育サービス：中央児童館、北部児童館】

指定管理者及び事務局より令和5年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート（年次評価）について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。

<質疑・意見等>

（委 員）毎月の報告書類の提出遅れがあったということですが、どのような書類について遅れがあったのでしょうか。

（指定管理者）児童館の利用者数の集計表と開館日数の報告書があり、あわせまして施設の収支状況の報告書を毎月提出することになっています。弊社では、施設で作成したものを本部側で受け付けて取りまとめてお

りますが、弊社の施設が多いということもあったり、経営部門の締切や修正等の関係で、期日までの提出が守られなかったというところが令和5年度にはかなり頻繁にあったということです。

(事務局) 補足をしますと、毎月10日までに前月分を提出していただくということでお願いをしている中で、10日を過ぎてしまうことが多々あったというところでの指摘をさせていただきました。

(委員) 他の会社は締切が守られていたということでしょうか。

(事務局) そうです。

(委員) 書類の誤りが散見されたということですが、どのような誤りだったのでしょうか。

(事務局) 多くは数字の誤りです。例えば、利用児童数について、毎月の部分と累計があるのですが、その累計が違っていたりとか、毎月の数字は合っているが前月と内容が違っているといった誤りがみられました。

(委員) その誤りはどうして発生したのでしょうか。

(指定管理者) 月次報告書の中で、利用者数の累計を記載した後、翌月のエクセルシートに数字を転記するのですが、その際に施設長の入力誤りがあったというところと、本部側としましても、施設で作成したものを二重チェックするいうところが抜けていて、そのまま誤った書類を市に提出してしまったというところです。

(委員) その誤りは市側で発見したということですか。

(事務局) そういうことです。

(指定管理者) 今後の管理方法についてはよく検討したいと思います。

(委員) 地域交流についてはどのようなきっかけで行ったのでしょうか。

(指定管理者) 更生保護女性会や町内会には定期的にご挨拶をさせていただいてまして、その繋がりでもできた交流です。やはり児童館にとって地域との繋がりが重要だと考えていまして、地域の方々にこちらから積極的に声をかけていった結果、いろいろな行事を開催することができました。

(委員) ボランティアによる体操教室というものがありませんでした。これから小中学校の部活動が縮小されて、部活に関わるようなスポーツ団体だったり、利益を求めるような団体からのお話が増えてくるのかなと思うのですが、ボランティアによる体操教室というのは、選考はどのようにして行っているのでしょうか。

(指定管理者) 中央児童館で昨年実施した際には、施設を利用する来館者の方で体操に興味があり、子供たちに体操を教えることができるとおっしゃってくださいまして、そこから繋がってお願いをしました。

(委員) 完全にボランティアでしょうか。

(指定管理者) そうです。

(委員長) 経済的にゆとりのない家庭だとそのような事情もあってスポーツを諦めるというようなこともあると思いますので、無料で体操教室などを体験できると良いですね。

(指定管理者) ご意見いただきましたように、ボランティアの方でお願いできる講師の方に児童館にお越しいただいて、来館される方に費用を徴収することなくいろいろな体験をしていただけるように、企画していきたいなと思っております。

(委員) 北部児童館は建物も古い状況ですが、具体的にどのような修繕が行われていますか。

(指定管理者) 屋外の電気配線のカバーが外れてしまっていたので、その修繕を行いました。

<モニタリングレポートコメント意見>

年次評価については事務局案のまま承認を得た。また、審査委員会コメント欄については、市として表現を統一するという意味で、「安心安全」を「安全安心」に修正することで承認を得た。

【ポピンズエデュケア：南部児童館、西部児童館、ひまわり児童館、コスモス児童館】

指定管理者及び事務局より令和５年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート（年次評価）について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。

<質疑・意見等>

（委員）南部児童館のイベントで中学生のボランティアがお手伝いをしてくださっているということで、どのように声掛けをして実現したのでしょうか。

（指定管理者）もともと児童クラブを利用していた子たちが、卒業後も児童クラブと関わりたいという想いで自ら申し出をしてくれたという経緯です。

（委員）中学生のボランティアの方にはボランティア証明書のようなものは発行しているのでしょうか。

（指定管理者）発行しております。

（委員）西部児童館で太鼓クラブの活動があるということですが、太鼓の音などについて地域からご意見は出ていませんか。

（指定管理者）とくにお聞きしてはいないです。もともと小学校が近いということもあって、地域の方にはご理解いただいているのかなと思います。

（委員）ひまわり児童館について、館前にある掲示板を使って児童館の催しなどについてお知らせされていますが、町内会の回覧板などでの周知はされていますか。

（事務局）児童館の館だよりを町内の回覧で回しているところはないですが、広報に毎月のイベントを載せたり、ホームページや子育てアプリで周知は行っています。

（委員長）ひまわり児童館で、電気の科学館の出張講座を開催したということでしたが、こういうものがあるということを、どのようにして知って、どのように依頼したのでしょうか。

（指定管理者）弊社の違う施設で開催したところがありまして、社内で情報共有を

しておりますので、その中で知り、依頼しました。

(委員) ひまわり児童館の子育て支援センター的機能について詳しく教えてください。

(事務局) 議題2でも出てまいりますが、内山保育園の中にあった子育て支援センターすまいるが、令和5年度末で閉所しましたので、南部地区の子育て支援拠点として、その機能を移すということも踏まえて、来年度以降、子育て支援センター的機能をひまわり児童館に整備するということを考えております。

(委員) 走り方教室については、外部講師の方がいらっしゃるのでしょうか。

(指定管理者) スポーツ経験者である館長が講師としてやっています。

(委員長) 財務について、純利益がマイナスになっている要因としては、やはり人件費でしょうか。

(指定管理者) 会社全体で見ますと、特に東京エリアで保育園を増やしているということもありまして、保育園事業の場合は、園児が入るまでに少し時間がかかるというところで、最初は赤字から始まるような事業になっております。そういったところで、園の数が増えてスタッフの数は増えていますが、利益はきれいに比例するわけではないというところでは。

<モニタリングレポートコメント意見>

年次評価と併せて事務局案のまま承認を得た。

【セリオ・ALSOK ビルサービス共同事業体:大宮児童館】

指定管理者及び事務局より令和5年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート(年次評価)について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。

<質疑・意見等>

(委員) 修繕費が多くなっていますが、何かご苦労されていることがありますか。

(指定管理者) 昨年度はトイレの水漏れや砂場の屋根の腐食部分が見つかったり、非常灯の修繕などが重なったという状況です。

<モニタリングレポートコメント意見>

年次評価と併せて事務局案のまま承認を得た。

2. 令和7年度以降の児童館の方針について

事務局より令和7年度以降の児童館の方針について説明。

<質疑・意見等>

(委員長) 子育て支援センター事業というのは、虐待防止と関係があるものですか。

(事務局) 親御さんの居場所として、相談ができたりとか、お子さんとちょっと離れる時間を設けたりというようなことで、間接的には虐待防止にも繋がるかなというふうには思っていますが、実際に虐待を受けたお子さんを預かる施設ということではありません。

(委員長) 児童館連携型というのはどのような意味でしょうか。

(事務局) 子育て支援センターは2種類あります。子育て支援センターだけで事業を行う支援センターと、児童館等と連携して行う支援センターがありまして、一番の違いは、児童館連携型ですと、児童館には資格を持った専門職員がいますので、連携型で行う場合は子育て支援センターの職員としては、資格がなくても良かったりですとか、人数が少し緩和されたりというような制度になっています。その中で、一時預かりやこどもだれでも通園制度については、市としては単独で考えていきたいなと思っております。

(委員長) ひまわり児童館の場合、業者もそのような資格を持った専門職員であったり、しっかりした環境を作ることができるような事業者でな

いと難しいということでしょうか。

(事務局) 保育士を確保できる事業者でないと応募が難しいと思います。

(委員) 今後、修繕は包括管理で行うということですが、これまで修繕はどのように行われていたのでしょうか。

(事務局) 基本的には、指定管理業務の中の修繕費が年間 30 万円までは指定管理者が実施するというものになっていたのですが、その部分を、来年度以降の指定管理料からは 30 万円を除くという形になります。やはり現在の事業者は保育の専門業者ですので、そのような意味では、修繕業務や法定点検業務はビルメンテナンス業者が行う包括業務に含めた方が、専門性があつたりというメリットがあると考えています。

(委員) 児童館は、乳幼児から 18 歳までの方が利用できるということで、年齢の高い子と小さい子が混在すると危険なような気がしますが、どのように活動しているのでしょうか。

(事務局) 現状は、指定管理者の方で部屋を分けたりといった工夫をしています。時間については意図的に分けるというよりは、必然的に分かれるといったところがありまして、平日の場合、午前中は乳幼児親子さんが多く使っていて、午後になると放課後に小学生が帰ってきて使うことが多く、それまでに幼児親子さんは帰ってしまうというような形になっているので、時間で棲み分けられているというところがあります。もうひとつは、部屋を分けて、こちらは小学校高学年の子が遊ぶところで、こちらの部屋は乳幼児の子が遊ぶところというように、工夫して分けたりという棲み分けをしています。異年齢交流というものも大事にしたいと考えていますので、もちろん安全面には配慮して実施してもらっていますし、やはり長期休暇になりますと、どの年齢層の方も利用されますので、時間や配置などを工夫してもらっています。

(委員) その中で大きな事故はなかったということによろしいですか。

(事務局) 令和 5 年度のモニタリングレポートにもありましたが、大きな事故

やケガはありませんでした。

(委員長) こども食堂についての話がありましたが、例えば 12 時から 13 時まで飲食可能になったときに、こども食堂さんと連携して児童館を開放して、例えば困窮しているようなご家庭が来やすいようにするというような活動は、今後考えられますか。

(事務局) 現時点では児童館とこども食堂が連携しているというような例はありませんが、こども食堂のチラシを設置したりというような形での協力はしていると聞いております。今後、12 時から 13 時も開館するという児童館もありますので、こども食堂などとの連携も視野に入れて考えていきたいと思っています。

(委 員) 市内にはこども食堂はあるのでしょうか。

(副委員長) 社会福祉協議会のネットワークがありますので、そこに 5 つ加盟しています。

(委 員) 今後、中学生以上の利用も増やしていきたいというところで、実際に中高生の利用に特化した児童館がありますが、実績のある事業者は想定されますか。

(事務局) 11 月にサウンディングをした中では、学習支援に力を入れている事業者も参加されていまして、小中学生の学習の場みたいなことを児童館で行うという提案もありました。そういった事業者が参加されるということも考えられます。中高生が利用するかしないかというのは、実際に利用できるかできないかというところもありまして、今ですと児童館の開館時間が 9 時から 17 時までで、中学生、高校生はなかなか利用ができないというところです。今回については、北部児童館をモデル的に中学生、高校生をターゲットにしていきたいというところもありますので、北部児童館についてはそういった視点で審査していただきたいというふうに考えます。

(委 員) 学習の場ということで、図書館との棲み分けはどのように考えたらいいでしょうか。

(事務局) 図書館にも当然学習の場がありますが、どちらかといえば静かに勉

強する場所というところです。また、図書館は豊明中学校の近くで、北部児童館は位置的にも沓掛中学校の近くというところで棲み分けできるのかなと考えています。また、南部地区については、前後駅のところに南部公民館があってそこも学習の場として利用できますので、位置的にも棲み分けができるのかなというところです。

(委員) 今は中学校の部活が 17 時に終わったりするので、18 時までの 1 時間はどのように考えたらいいでしょうか。

(事務局) 中学生は 18 時以降にしか児童館に入れないというわけではなくて、18 時から中高生専用になるというイメージです。

(委員) 今日お話を聞いていて、不登校のお子さんが増えているという状況の中で、教育支援センターとか別室登校という対応がありますが、第三の居場所として児童館がなり得るといいのかなと感じました。

(委員長) オープンなところが児童館の良さだと思います。

以上